

大黒様と米づくり

葉いもち

いもちに負けない  
稲になる



WCS用稲  
にも使えます※

育苗箱への灌注に!  
側条施肥田植機で施用に!

殺菌剤

パイゲット®  
フロアブル

®は登録商標



写真はいメージです



NICHINO

日本農薬株式会社





## 特 長

- 稲をいもち病にかかり難くする作用性(病害防御機能の増強)を有します。
- 育苗箱の上から灌注処理することにより、いもち病を防除できます。
- 側条施用により、ブイゲットの箱処理剤や本田水面施用剤と同等の効果を示します。希釈する手間がいらすペースト肥料に直接混合できるフロアブル製剤です。

### 病害防御機能増強とは？

ブイゲットの有効成分チアジニルは、いもち病菌に対して直接抗菌力はありません。本剤を吸収した稲は、抵抗力が増強され、侵入したいもち病菌を細胞内に封じ込め、菌糸の伸展を阻止します。これにより、いもち病菌の病斑の形成、蔓延を防ぎます。

## 適用病害虫および使用方法

<2022年3月現在の登録内容>

| 作物名        | 適用病害虫名         | 希釈倍数   | 使用液量                                        | 使用時期               | 本剤の使用回数 | 使用方法                               | チアジニルを含む農薬の総使用回数                                   |
|------------|----------------|--------|---------------------------------------------|--------------------|---------|------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 稲<br>(箱育苗) | いもち病           | 25~50倍 | 育苗箱<br>(30×60×3cm、<br>使用土壌約5ℓ)<br>1箱当り500mℓ | 移植3日前<br>～<br>移植当日 | 1回      | 灌注                                 | 3回以内<br>(移植時までの処理は1回以内、<br>本田での散布は2回以内)            |
|            | 白葉枯病<br>もみ枯細菌病 | 50倍    |                                             |                    |         |                                    |                                                    |
| 稲          | いもち病           | 原液     | 400~500mℓ<br>/10a                           | 移植時                |         | ペースト肥料に<br>混合し側条<br>施肥田植機で<br>施用する | 3回以内<br>(直播での場合は<br>移植時までの処理は1回以内、<br>本田での散布は2回以内) |

## 試験成績 / いもち病(葉いもち)

ブイゲットフロアブル  
(移植3日前)  
対照剤(移植当日)



試験場：北海道立総合研究機構上川農業試験場 (2014年)  
品種：ほしのゆめ 移植：5/16(中苗マツ) 出穂：7/25  
処理：ブイゲットフロアブル：5/13(移植3日前)500mℓ/箱  
対照剤：5/16(移植当日)500mℓ/箱  
発生状況：少発生(接種)(無処理区発病株率100%、病斑面積率0.127%) 調査：8/2

ブイゲットフロアブル  
(移植3日前)  
ブイゲットフロアブル  
(移植当日)



試験場：日本農業(株)総合研究所現地圃場 (2014年)  
品種：ヒノヒカリ 移植：6/12(2葉期) 出穂：8/25  
処理：6/9(移植3日前)500mℓ/箱、6/12(移植当日)500mℓ/箱  
区制・面積：1区7.2㎡(4.8×15m) 連作なし  
発生状況：葉いもち：中発生(無処理区病斑数32.3個/株) 調査：8/5

## 注意事項

- 本剤をペースト肥料と混合して側条施用する場合は次の事項に注意してください。
  - 1) ペースト肥料に加えて均一に混合し、側条施肥田植機で本田に施用してください。
  - 2) 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。また、本剤と混合したペースト肥料は、速やかに使用してください。
  - 3) 同一の病害を防除対象とする育苗箱施用薬剤とは併用しないでください。
  - 4) 本田の整地が不均整な場合は、葉害を生じるおそれがあるので、代かき丁寧に行い、移植後は湛水状態(水深3~5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出ないように水管理に注意してください。
  - 5) 軟弱徒長苗、ムレ苗又は苗の生育が不良な場合には、葉害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 稲(箱育苗)に使用する場合は次の事項に注意してください。
  - 1) 育苗箱の上から所定量の希釈液を均一に灌注してください。
  - 2) 軟弱徒長苗、ムレ苗又は苗の生育が不良な場合は、葉害が生じるおそれがあるので、注意してください。
  - 3) さく等の他作物に影響を及ぼすおそれがあるので、その他の作物の栽培予定がある場所では使用しないでください。
- 砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多田の場合には使用をさけてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

レイミーの農業チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!



日農ホームページ



NICHINO

日本農薬株式会社

東京都中央区  
京橋1丁目  
19番8号

TEL:0570-09-1177 URL:https://www.nichino.co.jp/  
2023年6月作成版 (SPA)DF12306S